

グループディスカッション

○テーマ

- ①庁内外の個別避難計画作成に係る推進体制の構築
- ②真に支援が必要な者の絞り込み（優先度付けを含む）
- ③福祉専門職や地域住民へのアプローチと支援者の掘り起こし
- ④避難行動要支援者名簿と個別避難計画の外部提供の促進

グループ編成

行政順	グループ	自治体名	計画進捗	今年度・来年度の取組（予定を含む）
1	1	岡山市	一部	R3国モデル事業に参加。ハザードの状況等が異なる市内3地区を選定し、要支援者の聞き取りや地域調整会議を丁寧に行い、避難訓練も実施。来年度の取組のために令和4年度当初予算を確保。
11		瀬戸内市	未作成	相談支援専門員の会議に出席し、福祉課から個別避難計画の概要や今後の協力について依頼。取組方針や手順、優先度付けについては未着手。
16		和気町	一部	R元年度に県モデル事業に参加し、田ヶ原地区において福祉専門職が参画した個別避難計画の作成に取り組んでいる（訓練まで実施済）。来年度6月に民生委員の総会で個別避難計画作成の取組について説明会を開催し、協力依頼する予定。
2	2	倉敷市	一部	避難行動要支援者の登録要件の絞り込みを実施中。個別避難計画については関係団体等と連携して試行的に実施。来年度の取組のために令和4年度当初予算を確保。
10		備前市	未作成	防災担当部局と福祉担当部局が集まり、要支援者名簿の掲載内容や対象者の見直しについて議論中。庁内での今後の取組方針に係る具体的な協議は未着手。
13		真庭市	一部	7月に民生委員児童委員に対して個別避難計画作成の支援を依頼するとともに、支援者が見つからない要支援者のマッチングを継続中。11月に福祉専門職を対象とした防災説明会を開催。
5	3	笠岡市	一部	笠岡市金浦地区で自主防災組織を中心に個別避難計画を作成済。R3は個別避難計画を踏まえた地区防災計画の作成に取組中。市内で自主防災組織を中心とした個別避難計画作成の取組が進んでいる。
9		新見市	一部	庁内関係課の担当者レベルでの調整済。ハザード状況を踏まえた対象者の優先度付けに着手。来年度の取組のために令和4年度当初予算を確保。
12		赤磐市	未作成	防災担当部局と福祉担当部局との協議開始。介護保険分野（地域支え合いネットワーク推進協議会）や障害福祉分野（自立支援協議会、相談支援専門員連絡会）と協議や情報共有を進めている段階。庁内体制が確立されておらず、連携や役割分担は未着手。
22	4	勝央町	未作成	R2年度に県モデル事業に参加し、畑屋地区で地区防災計画の作成に取り組む。地区防災計画の連携も視野に個別避難計画の作成に取り組みたい。今年度は、要支援者名簿の再整備のため、防災担当部局と福祉担当部局で協議。自主防災組織に対して個別避難計画作成の取組について説明会を開催。
4		玉野市	一部	関係者によるワーキンググループの協議に着手（避難行動要支援者の範囲について再検討、優先度の検討）。 → ハザードマップを用いて優先度の高さを検討しようとしたが、いずれも危険な地域であったため、行き詰っている。
8		高梁市	未作成	避難支援プラン全体計画の見直しに着手し、今年3月に策定予定。今年度中に個別避難計画作成のモデル地区を選定し、来年度、計画作成の取組を進める予定。
19	4	矢掛町	一部	R3年度に県モデル事業に参加（矢掛町美川地区）。福祉専門職も参画し、地区9名の個別避難計画が完成。国が示す手順に沿って計画作成を実施し、マイ・タイムラインの作成や避難訓練も実施。同地区内の別組織（上高末地区、内田地区）で新たに計画作成に着手する見通しとなり、横展開が始まりつつある。計画作成の取組を推進するため、庁内外体制の構築、対象者の優先度付け、マニュアルづくり、地域へのアプローチを関係者と検討中。

グループディスカッション

グループ番号

選択テーマ

自治体名	発言内容	方向性	まとめ	備考